

画を策定します。

社会教育の推進

平成22年度からスタートした「第5次社会教育中期計画」に基づき、「笑顔が広がり、共に学び合い、豊かな心を育み、心身ともに健やかに自立した活動ができるまち」づくりを
目指し、「あいさつ運動」を推進します。

笑顔が広がるまち

あいさつがこだまする町を目指し、「あいさつ運動」を推進します。

子どもから高齢者までが集える場所づくりを推進するために、昔の遊び教室や放課後子ども教室等、「世代間交流事業」を継続して取り組みます。

共に学び合いができるまち

町民の学習成果の活用を図るため「生涯学習リーダーバンク」への登録を促すとともに、「学校支援ボランティア」

としての活用を促進し、地域全体で学校を支援する体制整備に努めます。

乳幼児同士・母親同士の情報交換や、交流の場等を提供する「うちの子一番クラブ」、「子育てサロン」の開催や子育てサポーター、町関係部局と連携した子育て支援事業を継続して取り組みます。

読書習慣の定着を図るための環境整備に努め、図書室電算化システムを活用して、蔵書管理や貸出・予約等の迅速なサービス向上に努めるとともに、町民の読書ニーズと学習意欲に対応した関係図書の充実や図書情報の提供に努めます。

豊かな心を育むまち

サポーターズクラブとの連携により舞台芸術鑑賞事業を促進するとともに、幼児から中学生に至るまで、素晴らし
い生の芸術に触れる機会や町内の各種文化に触れる機会の提供に努めます。

また、「鬼鹿松前神楽保存会」等、郷土芸能の保存、伝承に取り組む団体への支援に努めます。

文化協会加盟団体や各種サークル団体の活発な文化活動に対し、今後とも自由に活動できる環境整備に努めます。貴重な郷土資料については、保存整理とデータ等の整理に努め、展示公開や情報提供を通じて、その保存・継承に努めます。

心身ともに健やかなまち

生涯を心身ともに健やかで、活力ある豊かな暮らしを保持するためには、自らの健康を意識し自己管理することが大切であるので、生涯スポーツの果たす役割は極めて重要です。

町民の健康保持・体力向上等の健康管理対策は医療費削減効果も望めることから、町関係部局と連携し、幼児から成人まで、それぞれの世代を対象とした各種スポーツ教室の開催に努めます。

小学生やスポーツ愛好者の成果の確認の場として、町体育協会や各スポーツ団体との連携のもと各種大会を開催し、さらなるステップアップが図られるよう努めます。
当町は、留萌管内では唯一、

海洋スポーツができる施設を有しており、夏の体験型スポーツとして町内外の子どもたち等の研修授業として活用されていることから、今後も近隣宿泊施設との連携のもと利用の拡大に努めます。
スキースポーツは冬期間の地域住民の健康増進、子どもたちの野外教育活動の場として欠かせないことから、安全で楽しい生涯スポーツができるようスキー場の管理運営に努めます。



自立した活動ができるまち

新しい公共を担う人材を育成するため、住民の自主的な活動について支援を行うとと

もに、各団体と情報を共有しながら、人と人、団体と団体をつなぐ役割を果たしてまいります。

姉妹都市「東京都小平市」との「少年少女交歓交流事業」は、お互いのまちを理解し、広い見識が身に付く社会体験事業であります。近年、児童数の減少等も影響し、当町児童の参加人数も減少傾向にあります。子どもたちの成長が期待できる大変意義のある事業であることから、多くの子どもたちが参加しやすい環境を整え、継続して取り組んでまいります。

おわりに

以上、教育・文化・スポーツにわたり平成25年度の教育行政執行方針を述べましたが、その執行にあたっては、各関係機関及び関係団体との連携を図りながら、本町教育のさらなる充実と発展に努めてまいりますので、議員皆様方をはじめ町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、教育指針の一端といたします。